

「後期高齢者医療制度で名古屋の国保減免が潰されている!!」「名古屋駅前元気というが、地元業者にはまわってこない」「守山市民病院に市バス乗り入れをと運動中です」「障害者施策。見えるのはお金のカットだけ」

変えよう市政 切実な 願いと運動がドツサリ

08年度予算でどうなる!? 私たちの暮らし交流・懇談会特集



革新市政の会と市民犠牲許すな連絡会は、4月18日、「08年度予算で どうなる!? 私たちの暮らし」交流・懇談会を開きました。今年度予算に表れている施策や市政の流れが、市民生活にどのような変化や、影響を与えているか、くらしや仕事の現場から検証しようというものです。団体、地域から65人が参加。15人の発言が続く、中身たっぷりのおどいになりました。発言を紹介します。(全3ページ。発言内容は、市民犠牲許すな連絡会ニュース4月24日号と共通です)

いっそうの市民負担増、福祉削減など「構造改革路線」の予算 名古屋市職労

今年度の市予算の大きな特徴について。市民の要求と運動で、子ども医療費無料化や妊産婦無料健診の拡大、敬老パス3千円の継続などが実現。しかし、予算の基本は「構造改革路線」にもとづくいっそうの市民負担増、福祉削減、大型プロジェクト推進。

後期高齢者医療でも「名古屋の福祉」切り捨て あいち年金者組合県本部

後期高齢者医療制度がスタート。名古屋のこれまで65歳以上の国保の減免は全国で一番進んでいたのの影響が大きい。75歳以上の国保の方は15万人いたが、うち5万5千人は保険料ゼロだったものが確実に保険料を取られる。8万人もが影響を受けている。名古屋市はいっさい減免を取り入れない。国保での助成、敬老パス引き続き運動を。

ひとりぐらしの高齢者の所在など、市は町内会には必要な情報を知らせ、防災に役立つように!

後期高齢者医療制度 中止・撤回へがんばる 愛知民医連

後期高齢者医療は、差別医療が持ち込まれ、別建てになった部分があるが、私たちの運動で全面的な別建てにはさせていない。患者との合意がなければ後期高齢者診療料を取れないようにさせた。後期高齢者診療料は1カ月6千円だが、これでは満足な検査

等はできない。民医連では後期高齢者診療料は算定しない、いままで通りのやり方呼び掛けている。全国各地の医師会からもこの制度に反対する声が上がっている。ひどい制度! 中止、撤回を求めて引き続きがんばる。

国保値上げも大きな問題 愛知社保協

後期高齢者医療制度問題で引き続き運動を強める。市議会に75歳以上の高齢者のための新たな福祉制度実施を求める請願を出しているが、採択のため議員要請を強める。国会では、民主も後期高齢者医療制度に反対し廃止法案が野党共同で出されているが、市議会の民主はそうっていない。7千円近くも上がった国保も大きな問題。こちらの問題もきちんとやっていきたい。



妊産婦健診無料ふやして安心して子育てできる名古屋を 新日本婦人の会県本部

妊産婦健診のアンケートに取り組み、440通以上

返ってきている。「検査で一度に1万8千円かかった時は正直ビックリ」「異常がなく「元気ですね～」だけで5千円はもったいない。病気でなくても必要なことなら保険の対象にしてほしい」などの声が聞こえてきている。東京では22区で14回健診を実現しているが、聴き取りしたケースでは、駆け込み出産41人の内、4人が死亡、11人が支払できず。愛知でも豊田、安城、大府で14回健診に。安心して子育てができるようにするためがんばろう！



障害者福祉 新しい施策はなく、見えるのはカットだけ 愛知県障害者（児）の生活と権利を守る連絡協議会

障害者施策を見える形でお金を削ってきたのは松原市政。タクシー助成のカット、住宅改良補助の減額等、何年もかけてやってきた。何度もデモ等をやったが、見るべき反映はない。以前からの進んだ面もまだ残っているが、新たな施策はない。今困っているのは、入院時、介護ヘルパーの派遣が認められないこと。トイレや食事には介助が必要なのに。安心して入院もできない。後期高齢者医療制度は、障害者は65歳からと10年も適用が早く全くの差別。国保と選択できるというが、国保を選べば障害者の無料は利用できない。何とかしてほしい



子どもたちの放課後に笑顔を 建交労・学童保育支部

松原市政で、学童保育は切り捨てられこそしていないが、真綿で首を絞められている。トワイライトスクールが拡大。本来、学童保育は生活の場、トワイライトは遊びと体験、異世代交流の場と位置付けられているが、お母さんらの不安定、低賃金就労が広がるもと、学童保育は保育料が高く、トワイライトなら安全に学校の中で遊べるからと、学童代わりに利用せざるを得ない実態なのでは？ 学童は児童が思うように集まらず、補助金も削られていく状況。この5年で180カ所以上あった学童保育所が10カ所以上減った。他の市民団体等と協力し「なごやっ子の

放課後を考える会」をつくり、「子どもたちに未来を！放課後に笑顔を！」のアピールをまとめ、市や議会に届けた。これから賛同を集めたい。

半数が「国民年金払えない」 きびしい業者の暮らし 愛知県商工団体連合会

ある民主商工会が業者アンケートを実施。税の滞納14%、国保の滞納13%、国民年金払っていないが54%も。年金にしわ寄せが。前年より売上減が45%。原材料費は上がっているのに87%が転嫁できていない。名古屋駅前が元気というが、例えばミッドランドスクエアのテナントの食材は全て東京から持ち込まれ地元は潤っていない。トヨタの年間ボーナスは250万円、業者の家庭から「うちの年間所得の方が少ない」の声。あるトヨタの三次下請けはこの3、4年で25%のコストダウン。本業で食べていけず奥さんがパートに出る、事業に年金を注ぎ込むなど本当にギリギリの暮らし。政治を変えていくしかない！

生徒たちの夢を壊す教育予算減・高負担 名高教

市立高校の1学級あたりの学校運営費は、この10年間で112万円から68万円に半減させられている。このため授業料などが上げられ、保護者の負担は多い場合、年30万円台にもなる。予算がなく、工業校では古い機械を使い続けているなどの危険な状況もある。

教育政策として競争が激しくさせられ、挫折感を持ったまま高校に入ってくる生徒たちが大変増えている。ストレスがたまり、いじめが急増している。

実業校ではこの時期子どもたちの顔が引きつってくる。大学に行くためには多額のお金が必要、家庭内の争いになる。成績のいい子ほど悩む。がんばって進学したい子たちの夢が壊されてしまう。

時間外部活指導がんばっても手当てはわずか 全教名古屋

部活は私たちの本業ではない。市教委が私たちの要求していた超過勤務の実態調査を実施。結果は全国調査を上回る超過勤務。この中に部活指導も入っているが、部活指導は謝金という程度で、日曜日1日指導しても1200円、今年度から2400円。外部の方だと1時間2000円。今年から外部の方の顧問という制度ができ、月4万8千円。時間2,400円。



学校行事を地域の方たちなどにサポートしてもらい「運営サポーター」という制度があるが、実効が疑わしい。文科省のひも付きで、受けるほうが手を上げる。つまらないものにお金を使っている実態。

市民の願いは病院の縮小ではなく充実 守山市民病院を守る会

守山市民病院の産科が4月から廃止され地元民として残念。市民病院の再編計画で現在の200ベッドが2012年度までに95に。診療科も東市民病院のサテライト化で、診療所的なものにしてしまう。緩和病棟をつくるなどの面もあるが、こういう再編には賛成できない。いまの市民病院をもっと充実をと5年がかりで運動している。5月12日、公共交通機関から離れている市民病院にバスを通せと市交渉をする。病院の縮小問題は守山だけの話ではなく、厚労省の大きな政策のもとで起きている問題として広く明らかにしながらがんばっていくのでご支援を！

生活保護行政改善へ力を合わせて 愛知県生活と健康を守る会

水際作戦などといわれ生活保護の打ち切りや制限をする行政が問題になっている。「弁護士さんと窓口に行くとき受けられるよ」などという風潮もあるが、本来一人で行っても受けられるもの。その裏側にあるものを問題にしていく時期。市も含め、県下の役所の対応にバラつきが。同じ法律なのに、解釈、対応が違い問題になっている。職員は1人170~180件も担当し対応に追われるが、面接、ケースの方ぐらいいは知識も持ち、相談者にあらゆる面で自立を援助する対応をしてほしい。一番の問題は国の対処のきびしさ。働いている方たちと共に解決していきたい。

障害者と福祉労働者に笑顔がわく市政を きょうされん愛知支部

「障害者を締め出す社会はもろい社会である」（「障害者権利宣言」）日本の人口の5%が障害者手帳を持っている。名古屋市では約10万人。その

障害者に対する仕打ち、障害を自己責任とする応益負担の自立支援法ができ2年経過。お金の払えず施設をやめる人や、親子心中する人が出た。職員の労働条件もひどい。私の施設でも年収は大卒で200万以下が当たり前、昨年度は4人の方が退職する事態になった。運動なしにはこの状況を押し返すことはできない。障害者と福祉労働者の笑顔をつくっていくため政治を変える、市長選で必ず勝つ。その中で次を担う人づくりも進めていきたい。

日本母親大会成功へ全力投球中 愛知母親大会実行委員会

7月26、27日に愛知で日本母親大会を開催。いま力を入れているのは名義後援を集めることで、自治体、マスコミに働きかけている。男性の協力なしには母親大会は成功できない。女性たちは元氣。がんばって市長選に勝ちたい！

市民生活優先予算求め組み替え提案 日本共産党名古屋市議団

切実な市民要求を実現するため日本共産党市議団は、今年度も予算の組み替え案を出した。組み替え提案では、議員報酬や政務調査費など議会のムダづかいを改めることや、本丸御殿の復元工事の中止をはじめとした不要・不急の大型公共事業、大企業優遇施策の中止など、29項目で295億円の削減を打ち出した。その財源で、限られた枠の中、ささやかな願いではあるが、後期高齢者医療の保険料軽減のための新たな福祉制度の創設、学童保育の運営費助成の拡大、保育料徴収金の値上げ中止を提案し、議会で奮闘してきた。介護保険も政令市で一番高い40%の値上げ。こんなひどい市政、市長選で大きく変えよう！共同のたたかいを！



※屋外写真はいずれも第79回愛知県メーデーから。記事とは関係ありません。

市民の願い実現
市政転換めざす
つどいです
ご参加下さい

951票差まで追いつけた京都市長選・市政刷新の会候補
中村和雄さんを迎えて
トークと交流・市民のつどい

5月18日(日)午後1時半 名古屋市教育館(中区・錦三)

次回団体・地域代表者会議のお知らせ

6月20日(金)午後6時半
労働会館東館ホール